



# 富山大学学報

第108・109号 (昭和43年11月・12月)

## 目次

関係法令	1
学内規則	2
富山大学経済学部人事教授会暫定規則	2
富山大学評議会規則の一部を改正する規則	2
諸会議	2
人事異動	3
学内諸報	3
全關連学生による大学本部不法占拠	3
富山大学後援会緊急理事会	4
教員の海外留学中の感想	4
イギリスの雑感	4
西ドイツでの研究滞在をおわって	5
富山大学科学教育研究室修了式	6
職員家族大運動会の開催	6
教官の外国出張	6
職員消息	7
主要日誌	7

## 関係法令

### 法律

	(官報掲 載月日)
一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(105)	12.21
特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(106)	〃
国家公務員の寒冷地手当に関する法律の一部を改正する法律(110)	〃

### 政令

国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令(334)	12.13
国家公務員共済組合の更新組合員等で外国政府職員等の期間を有するものが申出をした場合における長期給付に関する措置等に関する政令(349)	12.28

### 府令

人事記録の記載事項等に関する総理府令の一部を改正する総理府令(総理55)	12.5
寒冷地手当支給規則の一部を改正する総理府令(同57)	12.23

### 省令

支出負担行為等取扱規則等の一部を改正する省令(大蔵56)	11.19
国宝又は重要文化財指定書規則の一部を改正する省令(文部31)	12.26

### 規則

給与簿の一部を改正する規則(人事院9-5)	12.7
非常勤職員の勤務時間及び休暇の一部を改正する規則(同15-4)	〃
休暇の一部を改正する規則(同15-6)	〃
現行の法律、命令及び規則の廃止の一部を改正する規則(同1-4)	12.21
初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改正する規則(同9-8)	〃
宿日直手当の一部を改正する規則(同9-15)	〃
暫定手当の一部を改正する規則(同9-22)	〃
通勤手当の一部を改正する規則(同9-24)	〃
特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-30)	〃
初任給調整手当の一部を改正する規則(同9-34)	〃
最高号俸をこえる俸給月額を受ける職員の昭和42年改正法附則第14項の規定に基づく俸給月額の一部を改正する規則(同9-50)	〃
最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等に関する規則(同9-51)	〃
営利企業への就職の一部を改正する規則(同14-4)	〃
営利企業の役員等との兼業の一部を改正する規則(同14-8)	〃
俸給表の適用範囲の一部を改正する規則(同9-2)	12.25
宿日直勤務の一部を改正する規則(同15-9)	12.26
行政職俸給表(一)の8等級の官職等へ任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等の一部を改正する規則(同8-13)	12.28
隔遠地手当の一部を改正する規則(同9-31)	〃

### 訓令

文部省所管船舶乗組員に対する旅費支給規則の一部を改正する訓令(文部36)	11.5
人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令(同37)	12.11
文部省本省内部部局文書決裁規程の一部を改正する訓令(同38)	12.14
文化庁内部部局文書決裁規程の一部を改正する	

訓令（文部省・文化庁3）	12. 14
<b>告 示</b>	
保健婦助産婦法に規定する学校として指定した附属看護学院の位置を変更した旨の届け出があった件（文部302）	11. 5
史跡遠見塚古墳を指定した件（同303）	11. 8
天然記念物雨乞のイチョウを指定する件（同304）	〃
天然記念物神屋・湯灣岳を指定する件（同305）	〃
名勝榴ヶ岡（サクラ）の指定を解除する件（同306）	〃
短期大学の名称を変更する旨の届出があった件（同307）	11.13
重要無形文化財色絵磁器の保持者が死亡したので、当該保持者の認定および重要無形文化財色絵磁器の指定は解除された件（同308）	11.18
科学研究費補助金取扱規程の一部を改正する件（同309）	11.30
昭和44年度科学研究費補助金の計画調書の提出期間を定める件（同310）	〃
指定技能教育施設の連携措置に係る科目を指定した件（同311）	〃
学校教育法の規定による技能教育のための施設を指定した件（同314, 315）	12. 9
保健婦助産婦看護婦法に規定する学校として指定した短期大学の位置を変更した旨の届け出があった件（同316）	12.11
観測ロケット実験を実施する件（同317）	12.21
<b>官庁報告</b>	
昭和43年度高等学校教員資格試験合格者（文部省）	11. 1
昭和41年人事院公示第5号の一部改正に関する決定した件（人事院公示9）	12.10

**学 内 規 則**

**富山大学経済学部人事教授会  
暫定規則の制定**

富山大学経済学部人事教授会暫定規則を次のとおり制定する。

昭和43年11月22日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学経済学部人事教授会暫定規則

（趣旨）

**第1条** この規則は、富山大学教員（教授、助教授、講師）選考基準および富山大学経済学部教授会規則第3条第1項ただし書きの規定にかかわらず、人事教授会について暫定的な措置を定めるものとする。

（組織）

**第2条** この人事教授会の組織は、次のとおりとする。

- 一 教授
  - 二 経済学群，経営学群，法学群および社会学群に属する助教授のうちから各1名
- 2 各群から教授が任用された場合は、前項第2号の助教授のうち、その群に属する助教授は、この人事教授会に加えないものとする。
- （この規則の廃止）

**第3条** この規則は、昭和44年3月31日限り廃止する。

**附 則**

この規則は、昭和43年11月22日から施行する。

**富山大学評議会規則の一部改正**

富山大学評議会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和43年11月25日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学評議会規則の一部を改正する規則

富山大学評議会規則（昭和28年5月28日制定）の一部を次のように改正する。

第2条第3号の次に次の2号を加える。

- (4) 附属図書館長
- (5) 学生部長

**附 則**

この規則は、昭和43年11月25日から施行する。

**諸 会 議**

**第12回 評議会（11月11日）**

（議題）

1. 経済学部教授会規則の一部改正について
2. 附属図書館長及び学生部長の評議員の件について
3. 医学部設置に関する本学の方針について
4. 学士入学について
5. 昭和43年9月卒業者の認定について
6. 学生の転学部について

**第13回 評議会（11月22日）**

（議題）

1. 経済学部人事教授会暫定規則の制定について
2. 附属図書館長，学生部長の評議員の件について
3. 教官人事について
4. その他

**第14回 評議会（11月26日）**

（議題）

1. 大学本部占拠学生の対策について

**第15回 評議会（11月29日）**

（議題）

1. 大学本部占拠学生の対策について

**第16回 評議会（12月4日）**

(議題)

1. 大学本部占拠学生の対策について

第17回 評議会 (12月9日)

(議題)

1. 大学本部占拠学生の対策について

第18回 評議会 (12月13日)

(議題)

1. 昭和44年度富山大学教育専攻科ならびに経済学専攻科の学生募集要項について

2. 学生の除籍について

第19回 評議会 (12月27日)

(議題)

1. 報告事項 (昭和44年度富山大学大学院第2次学生募集要項について)

2. 国大協の大学院問題に関する第1次アンケートについて

3. 学長事務代理について

4. 大学本部占拠学生への対策について

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
助 教 授 (新潟大学理学部)	水 沢 英 男	教授 (文理学部) に昇任させる	43. 11. 1	文 部 大 臣
	増 田 恭次郎	助手 (文理学部) に採用する	〃	富山大学長
	竹 林 信 儀	臨時用務員 (工学部) に採用する	〃	〃
技 能 補 佐 員 (工 学 部)	田 中 暉 敏	辞職を承認する	43. 11. 11	〃
	今 村 ます子	臨時用務員 (教養部) に採用する	〃	〃
助 教 授 (教 育 学 部)	大 滝 直 平	教授 (教育学部) に昇任させる	43. 12. 1	文 部 大 臣
教 授 (併) 附属図書館長 (薬 学 部)	長 谷 純 一	富山大学評議員に併任する (任期43. 12. 1~45. 2. 19)	〃	〃
教 授 (併) 学生部長 (教 養 部)	梅 原 隆 章	同 上 (任期43. 12. 1~45. 10. 24)	〃	〃
	田 盛 一 枝	臨時用務員 (教育学部) に採用する	43. 12. 9	富山大学長
	森 田 義 保	同 上 (経理部主計課警務員) に採用する	43. 12. 13	〃
教 授 (文 理 学 部)	手 崎 政 男	富山大学評議員に併任する (任期43. 12. 23~44. 5. 31)	43. 12. 23	文 部 大 臣
教 授 (文 理 学 部)	館 熙 道	富山大学評議員の併任を解除する	〃	〃

学 内 諸 報

全闘連学生による大学本部不法占拠

11月12日午前2時、経済学部教官人事の暫定規則に反対する反日共系 (全闘連) 学生により大学本部が不法に占拠された。そのため事務局、学生部の大部分の書類が封鎖され、わずかに給与関係と奨学金関係の書類のみが搬出されたにすぎない。この状態が続けば本部は勿論各学部の機能が麻痺し、教育研究のための図書・機材の購入、スキー講習会等すべての学生課外活動ならびに学内諸施設の工事が困難となり、開学以来はじめての憂慮すべき情勢といわねばならない。

11月27日学長から「学生諸君に告ぐ」(後記) および「占拠学生に対する告示」(後記) が行なわれ、12月5日および6日には学長より本部不法占拠学生に対し学長、各学部長、教養部長、事務局長、学生部長と学長室で条件付

きで話し合いに応ずることを呼びかけたが占拠学生は応ぜず、彼等はあくまで黒田講堂等で大衆団交することを強く主張して譲らず、本部の不法占拠は当分続つきそうな状況である。

「学生諸君に告ぐ」

1968年11月27日 学 長

経済学部の教官人事の紛争に端を発し、11月12日午前2時頃遂に一部学生により予知せざる本部占拠の不祥事が起った。

既に占拠2週間に及び、本部中枢の機能は麻痺し、これは直ちに各学部の教育研究に対し、日一日と甚大な影響を与えつつある。即ち育英資金、薬品器具等の購入、学生の保健体育および課外活動に対する諸費用の未払い、ならびに業者の未払いをはじめ入試、卒業等に対する諸準備の渋滞など枚挙に遑がない。

本部職員はもとよりのこと各学部、教養部教官も一せい

に立ち上り、占拠学生に対し退出を説得している。

この際、学生諸君の良識により、富山大学の名誉のためまた一般社会人の大学に対する信頼を克ちうるよう、一日も早く事態終息のため奮起することを強く要望する。

### 「占拠学生に告ぐ」

1968年11月27日

富山大学長 横田嘉右衛門

このたび、諸君が不法に大学本部を占拠し、当局の再三の申し入れを拒否して、大学の正常な教育、研究業務を阻止していることは、甚だ遺憾である。

本部占拠中の学生は、大学業務の執行を正常な状態に復し、一般学生にも多大の迷惑を及ぼしている事態を一刻も早く解消するよう、速やかに退去せよ。

### 富山大学後援会緊急理事会

去る11月12日、一部学生が大学本部を不法占拠し、富山大学の協力機関である富山大学後援会の書類を許可なく持ち出し曲解して発表した。

このため、在学生、教職員ならびに一般社会の不信と疑惑を招き、関係者に多大の迷惑をかけることとなった。

後援会は、昭和43年度の後援会費の用途について審議するため、12月7日午後1時30分より県職員会館において名誉会長、副会長、常任理事、理事及び監事等26名出席のもとに緊急理事会を開催した。

理事会は、この会議において、大学の現状について大学当局に報告を求め、後援会関係の副書添書ならびに説明に基づき審査の結果、次の声明を決議し、これを学内外に公表し、後援会費に関する疑惑を解くとともに、理事会として今後とも後援会設立の趣旨にのっとり富山大学発展のために、更には紛争解決にも一層の熱意をこめた協力を惜まないことを表明することにした。

#### 声 明

1. 昭和43年4月から本日までの後援会費の用途の方法については、検討した結果、妥当であることを確認した。
2. 経済学部長は、人事教授会暫定規則により、すみやかに教官の人事を促進されたい。
3. 本部占拠学生は、大学の正常化のため、すみやかに本部から退去されたい。

昭和43年12月7日

富山大学後援会理事会

### 教員の海外留学中の感想

#### イギリス雑感

経済学部助教授 新田隆信

ヨーロッパの文化的風土は、キリスト教信仰を基軸として一体化した中世を背景に、近代国家が民族社会の地盤か

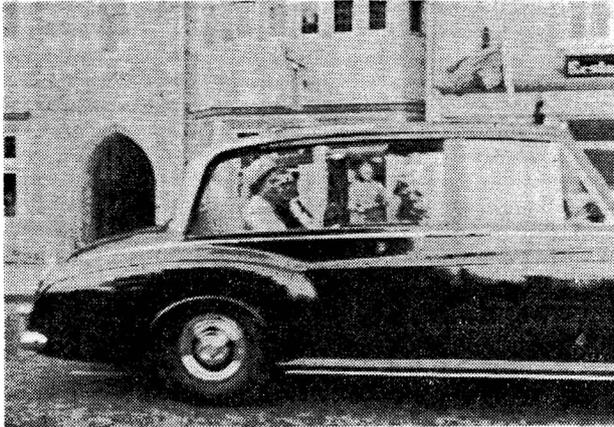
ら創り出され、それぞれの国が重厚な歴史的伝統に支えられつつ分化発展を遂げ、今なを馥郁たる馨を放っている。第二次大戦後、仏・独・伊とベネルックス三国の六カ国でヨーロッパ経済共同体（EEC）を設立したが、これはいぜんとしてヨーロッパを再統合に向わせる関の声である。しかし各国に宿る古い民族文化の遺産は、卓れた特質を湛え、その遺産を活用し、伝統を尊重しつつ進化の道歩んでおるのであるから、それぞれの国の歴史を学ばずしてヨーロッパを理解することはできない。私はイギリスに留学中何度か大陸に出かける機会を得たが、総じて英・仏・独の三カ国が西欧の先進三国として、国民が誇り高く建設に孜しみ、他国に範を垂れているように印象づけられた。

ここではイギリスについて若干の感想を述べることにする。この国は、議会民主制の発祥地として、また民主主義の世界観を確立し大成した国柄として、大なる評価に値する。かの女王ヴィクトリアがその在位64年間（1837年より1901年まで）を通じ、施政よろしきを得、イギリスを世界最大の帝国に築き、国運隆昌を極める一方、権を誇示することなく、裁可に当っても絶えて拒否権を動せず、実質的にイギリスを「王冠をもった共和国」の姿に安定させた。そのイギリス的特色、今日もイギリス型憲君主制のモデルとして民主主義と調和する君主の存在理由を示唆するものがある。

ヴィクトリア期にイギリスは、歴史の粋をこえた、といわれた。治乱興亡の歴史的起伏はいかにもあれ「イギリスの国威は永久に亡びない」との国民的確信の表明であった。それが、第1次・第2次の世界大戦を経て、再び歴史の波に操られ、ヴィクトリア期の栄光を象徴した帝国体制は解体し再編成を余儀なくされるに至った。しかしイギリスは賢明にも、自ら旧植民地に対する主権を放棄し、その代りに植民地民族をして独立国家の形成を促し、与えるに国家統治の基本法を以てし、ウェストミンスター憲法原理を提供し、新興諸邦の民主的発達を助けつつある。アジア・アフリカに並び立つこれら新興国は、挙げていわゆるイギリス連邦（厳密には連邦の訳語は不正確であるが）に加入し、経済的にスターリング地域を支え、イギリス法に準拠して維持するに到っている。

イギリス連邦の自治領のうち、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの3カ国は、イギリス民族のみから成る与国として、イギリス女王を元首に戴き、何れも立憲君主国を標促するが、他の自治領はアジア、アフリカの民族国家たる筋を貫ぬき概ね自国の大統領を元首とし、女王は諸邦統合の象徴たる役割を演ずるにとどまっている。インド、パキスタン、ガーナ、ナイジェリアその他枚挙に遑がない。尤も、セイロン、マレーシア、シンガポールなどは大統領がおらず、総理大臣が置かれる関係で、元首はイギリス女王であるが、前記3カ国とは自づからニュアンスの別がある。

さてイギリスと日本を比較すると、ひとしく島国で、国民性も類似する面が目立っている。本来的に日本人も、礼節を尚んで控え目 (reserved) であり、無用な饒舌を好まず、言葉遣いに気を配り、しかも気宇宏壮、悠容としてたじろわなかった。日本人の場合は、かの敗戦以降、虚脱から自信回復の過程で、大幅にアメリカナイズされ、性急で精悍な民族的エネルギーが無政府的に暴走する嫌いを生じているが、やがて日本的伝統の美に沿ってイギリス流の高貴な品位を尊ぶ民風に回帰することが望まれる。



女王の庶民的な行幸  
(オクスフォード大学にて)・筆者撮影

## 西ドイツでの研究滞在をおわつて

教育学部助教授 大塚恵一

思いがけない幸運に恵れて、在外研究員として西ドイツに出かけたのは、昨年10月の初めでした。南廻りドイツ航空の機内での不安な気持、生まれてはじめての外国である香港での特殊な気分、地中海上空で迎えた夜明けの空の青さ等々色々とおりまぜて、曇天のフランクフルト空港に到着。入国手続の窓口をまちがえて、その時のドイツ語による説明を聞きわけることができた時は、嬉しいやら安堵するやらでした。フランクフルトでは、ゲーテハウスを訪れたり、おなじみのマイン河畔の散歩道を楽しんだり、ティシュバインの画いた「カンバーニャにおけるゲーテ」を見たりして、2日後鉄道ハイデルベルクを経てバーデン・ヴュルテンベルクの首都シュトゥットガルトに出、そこからバスで約1時間、目的地の「大学都市」チュービンゲンに入りました。この街は人口約5万、それに学生数約1万という全く大学に依存する、いかにもドイツ的性格をもつのです。薬局の入口の隣りの入口に大学のロシア語研究室の看板が出ていたり、一つの建物の中の喫茶店とお菓子屋にはさまれた入口が大学の外国人課の入口だったり、街の歴史と生活が大学とのそれぞれ混然と切りはなしがたく接続しています。ですから「大学都市」という附加語は、単なる通称ではなく、この街の正式の呼称でもあるのです。正規の道標にそう書かれていますし、市役所の清掃自動車

のドアにもその様書きこまれています。

言葉の問題は、すべての人がドイツ語を話しているという場に身をおけば、そして言語は本来対話をその本質の一つとする以上、日本に居て考えるのとは全く別の形で、何とか通用し、そして覚え込んでいくもののように思います。

10月半ばから冬学期が始まりました。45分間、文字通り立板に水を流す如く語りつづける講義のエネルギーに先づ圧倒されました。一般にドイツの大学における状況は、日本のそれと大分異なるように思います。単位認定がありませんから日本の様な試験もなく、従ってその意味では初期段階の学生を中心とする一般講義の聴講雰囲気は、どちらかと言えばのんびりしている様です。学生の大部分は懸命にノートを取るという様なことをしません。

あちらの教授のお世話で二人の博士候補学生が終始面倒をみてくれました。彼等の車で各地を案内してくれたり講義や演習の解説をしてくれたりしました。

クリスマスと新年をローマで迎え、法王の年頭メッセージを至近距離で聞くことができました。「ベトナム」「平和」「経済的」いろいろの法王のイタリア語が耳に残ったのも印象的です。復活祭(今年は4月14日)を過ぎる頃の冬からもしくは夏への移行は、実に猛烈な勢のものでした。そしてその頃大学の夏学期も始まります。しかし「夏学期は遊ぶ学期」というのが大半の学生間の通り相場の様でした。冬からの解放そして又求めるべき各学期の為のエネルギーの蓄積ということを考えているのでしょうか。実によく遊び、日光浴をし、ビールを飲み、すさまじいものでした。

許された範囲内のことですが、見聞をひろめるための旅行も大切な行動です。ローマの他にパリ、ロンドン、アムステルダムと、中部ヨーロッパの中心地を訪ねて来ました。ロンドンからオランダビールと共にしたオランダへの8時間の船旅は最も印象に残った旅のひとつです。ライン河を、急行ローレライ号の車窓から眺めてドイツに帰りました。ライン河は観光の河でなく、実際には西ドイツの工業を支える動脈の一つというべき河でした。VWを駆つてのドイツ国内の旅で訪ねた街は約300。フランクフルトニュルンベルクの線から南へかけて、フランスやスイスの国境までの間が中心でした。航空機でベルリン、ハンブルク、鉄路でミュンヘン、ハノーヴァーは西ドイツで最も完全なドイツ語が話されているところです。習い覚えた南ドイツ語との違いに注意しながらの訪問は興味深いものでした。

1858年(安政5年)に開国して以来110年間、ヨーロッパ化に努力して来た我々日本人ですが、私の1年間の滞在で得た実感の一つは、「和魂洋才」といいながら、我々はその洋才についても又和魂についてさえもその本質から理解するということに忠実であったのかどうかということでした。それと、もう一つは、国と国とが海という陸地の否定体

をはさまないで接しているところに生ずる「国際的」という感覚が、海に囲れた日本でのそれと、ある意味では根本



ドナウ河の源  
シュヴァルツヴルトの中部  
黒海の河口より2888km

的に違う様だということです。その意味ではむしろ日本の国際的孤立性の様なものを考えさせられました。

北極廻りフランス航空機で10月5日帰国しました。3500枚のロラースライドと700枚のカラー写真ができました。どうぞ御利用ください。

### 昭和43年度科学教育研究室修了式

昭和43年度富山大学科学教育研究室修了式は12月16日午前10時から教育学部会議室において行なわれた。

科学教育研究室は、文部省が小学校・中学校および高等学校の理科教育の担当教員に対し、理科教育に関する基礎的研究を行なう機会を与え、もって理科教育担当教員の資質を向上し、その指導力の強化をはかることを目的としているもので、本年度は8名の研究生が修了した。

修了生および研究題目ならびに指導教官は、次のとおりである。

### 昭和43年度富山大学科学教育研究室修了者一覧

研究生氏名	勤務学校	職	研究題目	指導教官・所属官職・氏名
菊井 良	滑川高等学校	教諭	ホタルイカ飼育と発生過程の研究	文理学部 堀 令司 助 教授
岩坪 修	二上工業高等学校	〃	自動制御に用いられる電子回路の読み方と回路の構成と要素について	工学部 四谷 平治 教 授
安井 一夫	大沢野工業高等学校	講師	SCRを用いた制御回路	教育学部 広瀬 禧七郎 講 師
松島 宗宣	魚津工業高等学校	教諭	教育統計について	教育学部 泉 敏郎 助 教授
水木 省三	富山東高等学校	〃	有機高分子化合物の構造・性能について	薬学部 長谷 純一 教 授
仲西 昭二	新湊南部中学校	〃	川魚の研究	教育学部 田中 晋 講 師
溝口 巖	福光町吉江中学校	〃	花卉類の染色体倍化に関する研究	教育学部 一法師 頼忠 助 教授
西田 樹	福光町石黒小学校	〃	植物生理化学	薬学部 森田 直賢 教 授

### 職員家族大運動会の開催

第7回富山大学職員家族大運動会が11月9日(土)午後1時30分から本学新グラウンドで本部、文理・教養部、教育学部、附属学校、経済・図書・短大、薬学部、工学部以上7チームが、男子100m競争、女子50m競争、玉入れ等11種目の競技を行なった。今年は新しく応援賞も出るとあって、職員は勿論、ご家族の皆様も多数参加し盛大な運動会となり、楽しい秋の土曜日の午後を送り、賑やかなうちに午後4時終了した。

成績はつぎのとおり

優 勝 薬学部 38点  
次 勝 本部 34点  
3 位 工学部 32点  
応援賞 薬学部

### 教官の外国出張

本年11・12月における教官の外国出張者は次のとおりである。

(所属官職氏名、出張期間、出張先国、出張目的の順)  
教育学部教授 坂井誠一 43.12.20 ~ 44.3.19 タイ、

マレーシア、シンガポール、中華民国、沖縄、  
東南アジア諸国における仏教信仰の民俗学的研究のため。

## 職 員 消 息

### <新任者>

経理部主計課

臨時用務員 森田 義保

文理学部

助 手 増田恭次郎

教育学部

臨時用務員 田盛 一枝

工 学 部

臨時用務員 竹林 信儀

教 養 部

臨時用務員 今村ます子

### <改 姓>

庶務部庶務課

事務補佐員 山村 秋子 (旧姓・宮崎)

施 設 課

事務補佐員 山本 順子 (旧姓・山田)

厚 生 課

文 部 技 官 山本 郁子 (旧姓・高尾)

文 理 学 部

助 手 常川 省三 (旧姓・中川)

工 学 部

事務補佐員 梶原喜笑子 (旧姓・浦上)

経営短期大学部

文部事務官 三井 進 (旧姓・大房)

### <住所変更>

庶務部庶務課

事務補佐員 山村 秋子

経理部主計課

課 長 大木 平吾

経理部経理課

文部事務官 山本 道弘

施 設 課

事務補佐員 山本 順子

厚 生 課

文部事務官 安守 数雄

文 部 技 官 山本 郁子

技 能 員 松下 てる

文 理 学 部

助 手 常川 省三

教 育 学 部

文部事務員 吉田 徳正

工 学 部

教 授 宮下 和雄

助 手 笹倉 寿介

同 伊藤 紀男

教 養 部

教 授 林 良二

助 教 授 大谷 重彦

経営短期大学部

助 手 高橋 敏朗

## 主 要 日 誌

### 本 部

- 11月1日 第3回入学試験管理委員会  
2・3日 教官と1年次学生(教育学部)との合宿懇談会(穴水)  
2~10日 新樹寮祭  
9日 富山大学職員家族大運動会  
11日 評議会  
12日 全関連学生による大学本部不法占拠  
〃 第4回入学試験管理委員会, 学寮補導委員会  
14日 学寮補導委員会  
17・18日 体育会リーダー講習会(穴水)  
18日 補導協議会・学寮補導委員会の合同会議  
21日 補導協議会, 補導協議会・学寮補導委員会の合同会議  
22日 評議会  
26日 評議会  
28日 補導協議会・学寮補導委員会の合同会議  
29日 評議会  
12月4日 評議会  
5日 体育部会  
7日 富山大学後援会臨時理事会  
9日 評議会  
13日 評議会  
16日 富山大学科学教育研究室修了式  
20日 公務員宿舍委員会  
26日 大学院委員会, 補導協議会  
27日 評議会

### 文 理 学 部

- 11月6日 教授会, 人事教授会  
13日 文学科懇話会——守屋獅郎教授研究発表  
「英語の構造について」  
〃 文学科教官会議  
14日 教授会  
16日 学部図書委員会

- 20日 学部補導委員会  
 25日 県教委と就職協議会  
 27日 教授会  
 28日 学部補導委員会  
 12月4日 教授会  
 6日 愛知県教員採用説明会  
 11日 教授会  
 12日 学部補導委員会  
 18日 学部補導委員会  
 20日 学部補導委員と理学科学学生代表と懇談  
 23日 学部補導委員会  
 24日 後期第11週授業終了

### 教育学部

- 11月1日 紀要編集委員会  
 2～4日 附属中学校学校祭  
 5日 補導委員会  
 6日 教務委員会, 予算委員会, 第12回教授会  
 12日 補導委員会  
 13日 第9回人事教授会, 第13回教授会  
 14日 附属学校運営委員会  
 19日 補導委員会  
 20日 教務委員会, 第10回人事教授会, 第14回教授会  
 25日 補導委員会  
 27日 補導委員会, 第15回教授会  
 12月2日 将来計画委員会, 補導委員会  
 4日 第16回教授会  
 10日 附属小学校モニューマン「和」除幕式  
 11日 予算委員会, 教務委員会, 第17回教授会  
 13日 補導委員会  
 17日 補導委員会  
 18日 教務委員会, 職業補導委員会, 附属幼稚園終業式  
 21日 学部授業終了, 附属中学校終業式  
 23日 附属小学校終業式  
 28日 補導委員会

### 経済学部

- 11月2・3日 第5回中部学生経済ゼミナール大会  
 12日 学生の学部長室等不法占拠  
 13日 教務委員会  
 15・16日 経専学生自治会学生大会(ストライキ最終決議)  
 18日 学部正面玄関封鎖解除  
 19日 学部長室等封鎖解除  
 20日 教務委員会, 第22回教授会  
 21日 学部補導委員会, 第23回教授会  
 25日 全関連学生対経済学部教授会「大衆団交」

- (黒田講堂)  
 27日 教務委員会, 経済自治会執行委員長選挙  
 28日 全関連学生対経済学部教授会「大衆団交」  
 (黒田講堂)

- 30日 第24回教授会  
 12月4日 人事教授会, 第25回教授会  
 11日 教務委員会, 第26回教授会  
 14日 第27回教授会, 教務委員会  
 16日 第28回教授会  
 17日 第29回教授会  
 18日 第30回教授会  
 20日 学部学生集会(教授会と大衆団交)  
 21日 第31回教授会  
 24日 第32回教授会, 人事教授会  
 24～28日 補講  
 26日 第33回教授会  
 27日 第34回教授会  
 30日 冬期休業

### 薬学部

- 11月4日 薬剤学講座教授選考委員会  
 5日 薬学研究科委員会  
 11日 学部予算委員会  
 12日 薬剤製造学講座教授選考委員会, 人事教授会  
 〃 教授会  
 13日 教授会  
 25日 教授会  
 27日 生物試験部門教授選考委員会, 教授会  
 12月4日 教授会  
 9日 教授会  
 10日 人事教授会  
 11日 教授会, 薬学研究科委員会  
 18日 人事教授会, 教授会  
 21日 人事教授会, 教授会  
 23日 教授会  
 24日 教授会, 学部図書委員会  
 25日 人事教授会, 教授会  
 28日 教授会

### 工学部

- 11月4日 補導委員会  
 6日 寮生運動部のレントゲン間接撮影  
 7日 インフルエンザ予防注射  
 13日 一般教授会, 専任教授会, 日本育英会奨学金返還説明会  
 18日 専任教授会  
 20日 補導委員会  
 27日 一般教授会

- 12月 2日 学生と大学当局の五福移転問題に関する説明会  
 4日 一般教授会  
 5日 一般教授会  
 9日 大学院工学研究科委員会，一般教授会  
 23日 一般教授会

教 養 部
-------

- 11月 6日 補導委員会，紀要委員会  
 13日 教授会（第11回）  
 15日 紀要委員会，教授会（第12回）  
 16日 教授会（第13回）  
 20日 補導委員会  
 25日 補導委員会  
 27日 紀要編集委員会，図書委員会，教授会（第14回）  
 29日 紀要委員会  
 30日 補導委員会  
 12月 2日 教授会（第15回）  
 6日 教授会（第16回）  
 11日 紀要委員会，教授会（第17回）  
 14日 補導委員会  
 18日 紀要編集委員会，教授会（第18回）

附 属 図 書 館
-----------

- 11月 4日 図書館商議会（第3回）  
 5日 図書選定委員会，編成会議（第一部～四部，十部）  
 6日 本館内事務打合会  
 7日 図書選定委員会編成会議（第五部～九部）  
 12日 事務打合会（第4回）  
 19日 図書選定委員会委員長会議  
 25日 本館内事務打合会  
 12月24日 43年度富山県図書館協会大学高専部会例会  
 （富山工業高専校）  
 ♪ 時間外開館休止

経 営 短 期 大 学 部
---------------

- 11月 5日 教授会  
 9日 運動会  
 14日 昭和44年度入学試験問題作成委員会  
 12月10日 教授会  
 16日 学友会総会  
 23日 授業終了（12週）

編集

富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190

印刷所

中央印刷株式会社  
富山市下奥井28  
電話☎6572番